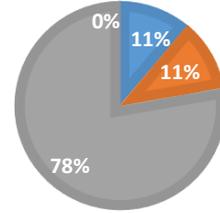


有識者との意見交換会(令和元年6月27日)アンケート結果

増	1
現状維持	1
減	7
未記入	0

議員定数

■増 ■現状維持 ■減 ■未記入



◆上越市の議員定数は、現在32人です。何人が適当と考えますか。

人数	増減別	定数	意見(自由記述欄)
1	増	36人	市全体の人口比ではなく、合併により住民の意見を議会に反映することが出来る人員が必要。特に中山間地から議員が出るのが大切。
1	現状維持	32人	人口減少ではあるが、もう少し現在の定数を維持すべきと思う。ただし、定数削減を行わなければならない状況なら、(削減を)容認する。
1	減	30人	他の委員の発言の中で「4常任委員会×7名＝28名で対応できるのでは？」という意見があった。人口減少(毎年1%、2,000人)の現状から、まずは、30名とするところが妥当と思う。
2	減	30人	人口減少もあり、かと言って広い市域であるため、極端に減らして活動に支障が出て困る。
3	減	28人	4常任委員会×7人＝28人
4	減	27～28人	人口減少で産業や消費など市場規模が縮小する中、上越市の収入や財源も厳しくなると予想される。当然、市議会議員の報酬総額も抑制せざるを得ない。総額を変えないで、全国と同規模の自治体と同じレベルの平均年収にするには、議員定数を減らすしかない。少数精鋭で、報酬を上げて、しっかりと働いていただきたい。人口減少による人材不足は、自治体、政治、企業など、皆深刻な問題である。議員の業務の棚卸しをしっかりと行って、仕事の効率を考えた議員定数削減を考えていただきたい。
5	減	20人	議員それぞれの主義主張や会派の違いなどの多様性はあるべきと思うが、地域社会の役に立つ政治家、プロフェッショナルの選ばれし少数精鋭の方が良いと感じる。
6	減	—	議員報酬を増額するのであれば、議員定数の削減とセットにしようとして、報酬の総額を減らす形しかないように考えられる。その場合、広範囲の市域を有する上越市において、広域合併前の過疎化が進行する地域のニーズが市政に反映されにくくなる懸念が生じることになる。「一つの上越」の理念やスローガンも大切ではあるが、「一つの上越」の下で、中心市街地と周辺地域の対立が深く静かに進行することは避けるべきである。
7	減	—	地域の代表に目の前の下水を直してもらおうとか、そのための議員として必要という考え方というか、議員の活動を捉えている方は、年齢によってだいぶ差が出てきていると思う。現実には、そういうことがどんどん今はなくなってきており、年齢や時代とともに議員に対する考え方、捉え方も変わってきた。定数を減らしたので、おのずと頑張っていたらダメなから、報酬を増やしたほうが良いという話の仕方が、多分、一番、皆さん納得が行くのかなと思っている。